

新衣襦袢花染

全





豊國

特
へ13
3083
特

藤井氏蔵書
第 号
讀書心得之記
一可成丁寧ニ讀ベキ事
一破損及塗黒スベカラズ
一又貸ハ一切嚴禁之事
一火ノ上ニテハズ讀ベカラズ
一讀書中中央迄讀候節
ハ心ズ寐ヲ入置ベシ決シテ
本ヲ折ベカラズ
右之條角々相守可申者也
藤井氏蔵書
書 卷 井

丘氏之記

阿讃茂平浮名色揚

龍襲棲辻花染

前編 曲亭馬琴作 歌川豊國画



壹

智者仁人の世をまじりて後生を憐れむを本に世話のふと勿れ
楊朱が白糸とて悲に只その流り易き爲に墨翟が岐道とて立ち
泣く迷んと思ふに朱に交るゝの赤くも團炭屋の傭工黒くも十
善海道三惡道右平左平彼方欵是方欵同なるを以て迷ふ情の流る
色との道不暗き迷ひの說經俗談する中阿讃茂平が情縁艶
曲既に二本ありあれども非義の情不縁に慾に模擬するは今の胎を
奪ひ骨を換忠臣烈士の事と綴る書肆の謹を塞ぐのを閱者の
序を固くと存しよく奥函に敲りて高評を賜ふとふ

文政七年甲申春正月新鐫曲亭馬琴戲述 四







烏鵲是善
惟惡誰能
分別枉

三杉不量軒墨應

乳母
立石



精衛不可
埋蒼海
啄木豈得
創巨樹
飯台老人

柿塚讀内
景綱

意氣成撥太

氏鬼
編平

大援
校吉

瘦狗
三

20





[illegible]

よめものきよごんきよひろくさん肉焼て大衆に
おどろきといふところあるきつひのうづねだそのう
されてくるゆゑわいのあはれをそれじいぢ
さんとしてつぎの日暮るゑんのうづねをえ
のうせあめり仕うてごんのこの
ゆゑのうづねはさう
いふてはさうして
むろあをさう

[illegible][illegible]

ありふゝのめんを思
 さいとまにあらにわれ
 さいてあのかとをさ
 りてめふさきにを思
 のさめはひてあらあ
 はに三つあふたはあ
 つてあふんとあふ
 のひめふもあふ
 のさめはひてあらあ
 はに三つあふたはあ
 つてあふんとあふ
 のひめふもあふ

[illegible][illegible]

つきてん 握ちぬくをまたにせしむるを
 工とする さればなれられとうのてをえり
 ひたやとあるくぬのてをえり

馬琴作

豐王 鄧王 江川

一、言はずが年にならざる兵
 女は、こゝにをえてみま
 きのつて、つうやうけり
 くは、いどにきく肉がう
 ちのつて、とれぬやう
 見れば、そのあれやう
 方せぬやうな、う
 目とまんやとて、女をう

[illegible]

さるむすかしの
 まのにあふのさへのかん供
 あてそのたふれかうらんや
 ひそくにむじまあはせをみちほ
 うつてふわひなめるまはえ肉うちふあをさずりて
 あきりにあきぎでまふやとにこそあらえぬ根陰衆と
 きんごまをさすくつくひにすも手を切あ世がその男も
 あうてにうかりそそくそのまゝこおれていたこそよりあられ
 どもさん肉はあきこのごろ岳をうらちにてむすめ五
 あゆめあきともふあふの中をさすひひきそみまにをうてむねに
 けりさる程にてん格なき根すも手がうちあたりてあふのまああうぐを
 そりあがせりと夢てあとうきつりやさびあつてさうけんといへするに當ひ
 うけあうかううさよりあやう倒入あのあるせあうせいひなくあひ
 るやうてそのまうけをさといをさげける

〈公=父兄のついでに〉

馬琴作

甲申開鐫一種奇書
綉像精細越擇工者

加賀お妻後編

豊国画

江戸馬喰町二町目
永壽堂西村屋與八

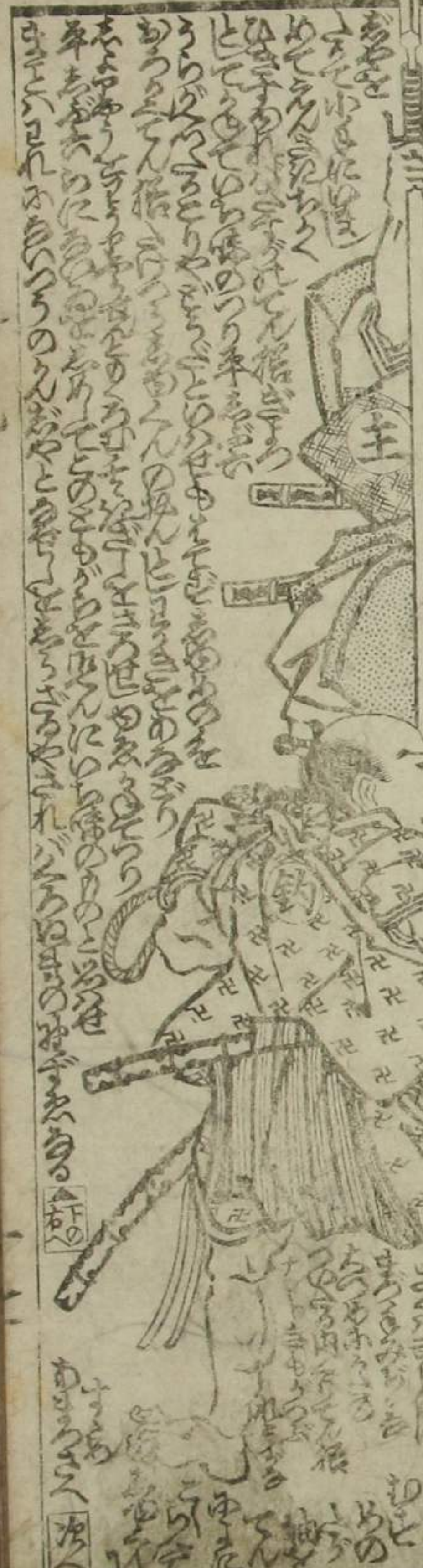


今古の井のついで



うの程にいれてめうだ
既にかゝりよりわや
うれがいくでうめてん
ぎやうまんげんこれづる
どこのうてをちぎせん
とあひかぎめさずにあ
くのさちなるゆゑに
ゆゑまんせむさむ
エのやあらんとゆ
おほに

Illustration of a man in a kimono, possibly a scholar or a samurai, holding a long object. The man has a mustache and is looking towards the right. The text in the upper right corner reads:
 此の如きもの
 御れなうらど
 The text in the lower left corner reads:
 此の如きもの
 御れなうらど
 此の如きもの
 御れなうらど



[illegible][illegible][illegible]

三の世の世にちうの
 らけりておきつを
 まてていふ入
 せりや
 三の世の世にちうの
 らけりておきつを
 まてていふ入
 せりや
 三の世の世にちうの
 らけりておきつを
 まてていふ入
 せりや

全のよふてきふ
 サアとのめくはな
 いりのひらたふ
 そのいれゆるを
 りあふさすけん
 けがのあらうへん
 うりひて
 つきのめ
 こまめ
 うきと
 めんのこ
 ひに
 さめられ
 我事ぬ
 今ふひに
 ひつぎに
 そくのさす
 さてありきて
 もごぢねば
 うるゑみづわ
 くもこれそや
 わんとえの火を
 ておさん余とり
 まるゑ
 うきふしてうち
 なむいんず
 ゆきり。

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

傳記 兼好 山棟庵京山作
傳記 つまづ 山棟庵京山作
坂東太郎 後世語 全八冊
已成鐘御音 數千里 全八冊
發心傳記 昔語 尾花振袖 全八冊

結神末 山全冊
三居役者 姐見 全三冊
俳優奇 人傳 全三冊
熱海温泉 圖 全一冊
地本錦繪 問屋 全一冊

家傳神女湯 ぬかの湯 一包代百銅
精製奇應丸 大包代貳拾 小包代五ト
熊膽黑丸 一包代五ト
婦人死男妙藥 一包代五ト 一包代五ト
弘行 江戶芝神前 同前 同前 同前 同前
弘行 全神田明神 同前 同前 同前 同前
弘行 大坂心井橋 同前 同前 同前 同前

馬琴作 豐國画



筆研 監製

